

2018年12月12日
日興アセットマネジメント株式会社

日興USグローイング・ベンチャーファンド

米国景気の強さとともに、 期待高まる米IPO市場

- 近年、米国景気の力強さを背景に米株式が好調な推移を続けるなか、米IPO（新規株式公開）市場にも活気が戻りつつあり、IPO株式も2017年以降、力強い上昇をみせてきました。
本レポートでは、あらためて「日興USグローイング・ベンチャーファンド」のポイントをお伝えいたします。

ファンドの特色

- 1** 企業の飛躍的成長の契機となるIPOに着目し、公開後5年以内の企業の株式を中心に投資を行ないます。
- 2** 世界の中でもIPOが盛んな米国の上場企業を投資対象とし、高成長が見込まれる企業に厳選投資します。
- 3** 銘柄選定は、株式のアクティブ運用に注力するラザード社*が、徹底した調査に基づき行ないます。

*ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー
※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用ができない場合があります。

足元で株価調整がみられるものの、基準価額は設定来で堅調に推移

<基準価額の推移>

(2014年10月1日(設定日)～2018年11月30日)



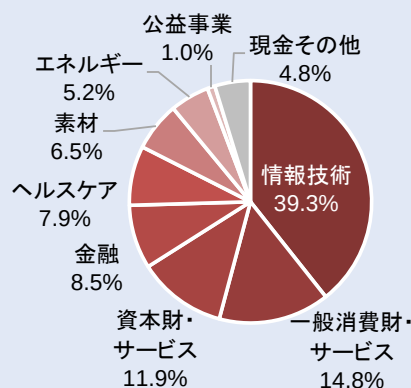
*1: 税引前分配金控除後 *2: 税引前分配金再投資ベース

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。

※基準価額(税引前分配金再投資ベース)は、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

<業種別構成比>

(2018年10月末時点)



※業種別構成比は、マザーファンドの純資産総額比です。

※上記数値は四捨五入しておりますので、合計が100%とならない場合があります。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

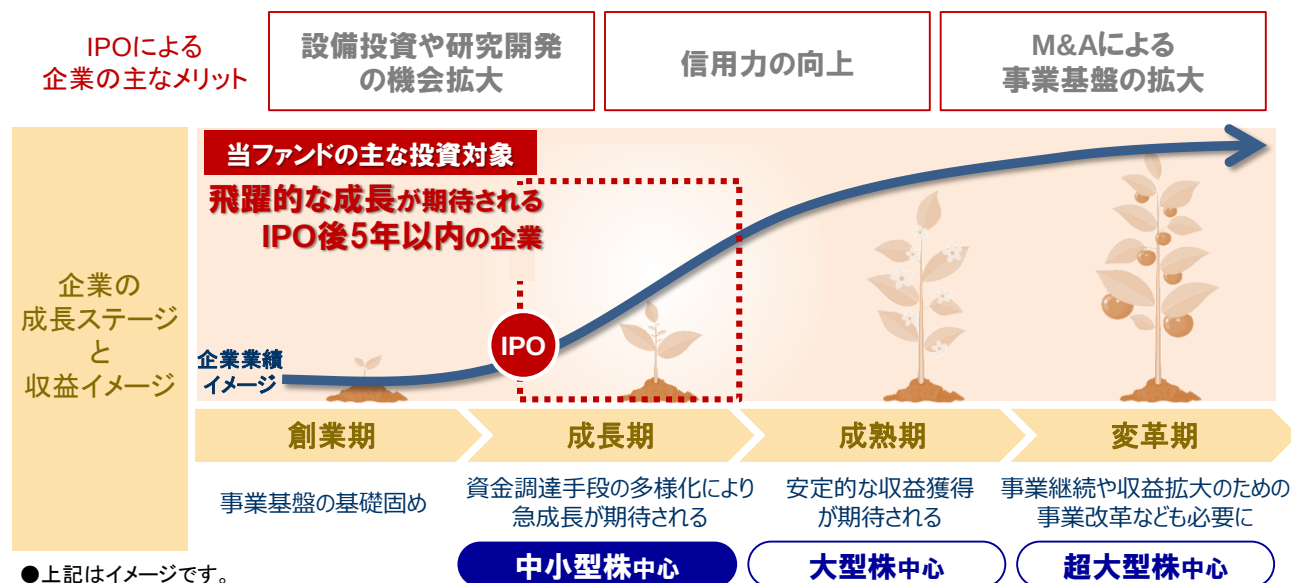
■当資料は、投資者の皆様へ「日興USグローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

当ファンドの
ポイント①

飛躍的成長が期待される米IPO株式

- 当ファンドは、IPO(新規株式公開)を契機に、企業に飛躍的な成長の機会が訪れるとの観点から、主に公開後5年以内の米国上場株式に投資を行います。
- IPO後間もない企業には、成長初期にあり、資金調達後に高成長が期待される新興企業などが多く含まれることから、当ファンドのポートフォリオは、時価総額の小さい中小型株の投資割合が多くなる傾向にあります。

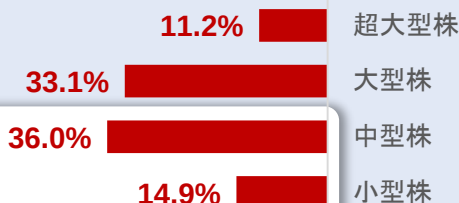
当ファンドは、米国での「IPO後5年以内」の企業に着目



中小型株が多い傾向にある当ファンドのポートフォリオ

構成銘柄の規模別分布
(2018年10月末)

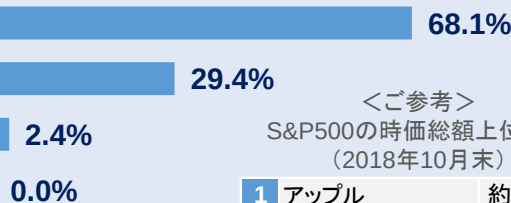
<当ファンド(47銘柄)>

当ファンドは
中小型株が
約5割

超大型株: 時価総額500億米ドル以上
 大型株: 同100億米ドル以上500億米ドル未満
 中小型株: 同20億米ドル以上100億米ドル未満
 小型株: 同20億米ドル未満

※当ファンドはマザーファンドの純資産総額比、S&P500指数は時価総額加重平均

※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

ご参考
<S&P500指数>

<ご参考>

S&P500の時価総額上位銘柄
(2018年10月末)

1	アップル	約8,300億
2	マイクロソフト	約7,900億
3	アマゾン	約7,400億
4	アルファベット	約7,200億
5	バークシャー・ハサウェイ	約5,100億

(単位:米ドル)

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興USグローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

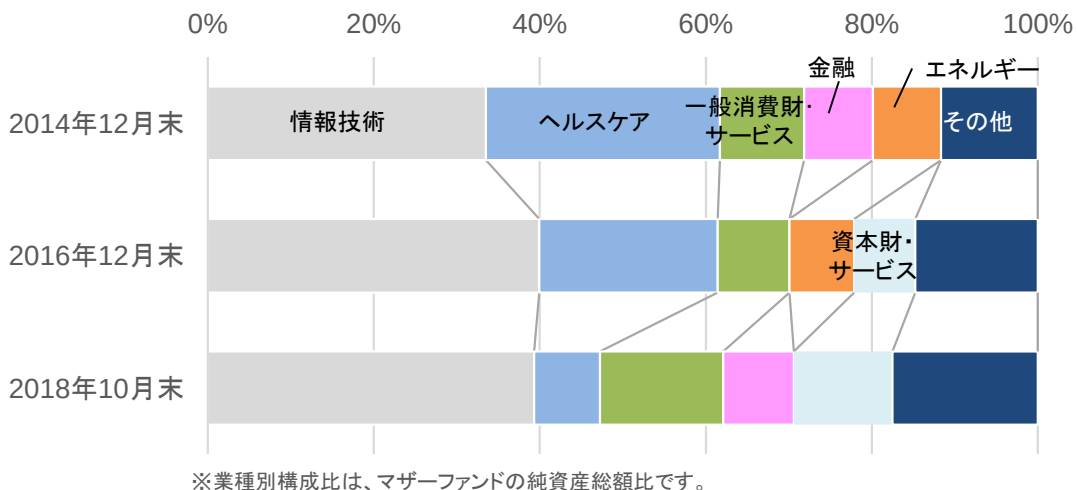
当ファンドの
ポイント②

IPO直後の企業の成長を捉え続けるポートフォリオ

- 米国ではこれまで、技術革新(イノベーション)をもたらし、その後、時代の潮流をけん引する企業が数多く誕生してきました。そのため、IT(情報技術)やヘルスケアの分野でIPOが多くみられる傾向にあります。
- ただし、IPOを契機とした成長機会は、時流や業種、個社の状況などによって大きく異なります。当ファンドでは、業種にかかわらず、IPO直後の企業の成長を享受すべく、「IPO後5年以内」の企業を主な投資対象とすることで、投資銘柄を入れ替え、ポートフォリオの新陳代謝を図る点が特徴といえます。

「IPO後5年以内」を基準に、新陳代謝を続ける当ファンドのポートフォリオ

<当ファンドの業種別比率の変遷>



<当ファンドの組入上位銘柄>

2014年12月末		2016年12月末		2018年10月末	
1	フェイスブック (情報技術)	1	フェイスブック (情報技術)	1	ペイパルHD (情報技術)
2	ゾエティス (ヘルスケア)	2	ヒューレット・パッカート・エンタープライズ* (情報技術)	2	ヒューレット・パッカート・エンタープライズ* (情報技術)
3	クインティルス・トランスナショナルHD*1 (ヘルスケア)	3	ゾエティス (ヘルスケア)	3	ヒルトン・ワールドワイドHD (一般消費財・サービス)
4	アッヴィ (ヘルスケア)	4	ヴァンティブ・インク*2 (情報技術)	4	シチズンズ・フィナンシャル・グループ (金融)
5	マラソン・ベトロリウム・コープ (エネルギー)	5	アリババ・グループHD (情報技術)	5	フォーティブ・コープ (資本財・サービス)

*1: 現QUVIAホールディングス、*2: 現ワールドペイ

●スペースの都合により、「ホールディング、ホールディングス」はHDと省略しています。

※上記は、マザーファンドの状況です。

※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興USグローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

当ファンドの
ポイント③

米景気の強さを背景に、高まる収益拡大への期待

- イノベーションを強みとする米IPO企業は、環境変化に大きく左右されず、高い成長が期待される一方で、銘柄選択に当たっては、企業競争力と成長性の観点から多角的に分析することが重要と考えています。
- 当ファンドは、これまでIPO企業の成長初期の収益拡大を捉え、概ね良好なパフォーマンスを続けてきました。今後も米国経済は好調に推移すると見込まれることも、米IPO企業の収益拡大につながると期待されます。

収益拡大を背景に、当ファンドは概ね良好なパフォーマンス

<当ファンドの基準価額*とEPS(1株あたり利益)の推移>

(2014年10月1日(設定日)～2018年11月30日)



※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。

※基準価額(税引前分配金再投資ベース)は、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

米景気の強さは、米IPO企業の追い風に

米IPO企業は、その多くが発展の初期段階にあることもあり、米国への事業依存度が高いことから、堅調が続く米国景気の恩恵が相対的に大きいと考えられます。

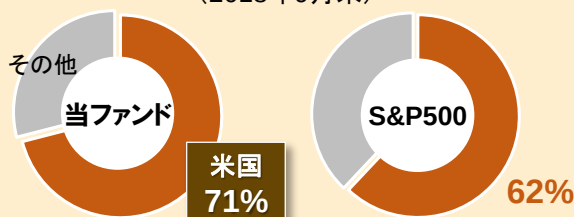
※2017年の全売上高に占める米国売上高を金額加重ベースで算出。

売上高の地域セグメント情報を公表していない企業は除きます。

※「当ファンド」は、マザーファンドの組入銘柄をもとに算出しています。

<米国売上高比率>

(2018年9月末)



ラザード社提供のデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興USグローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

米IPO市場の
動向

再び勢いを増しつつある米IPO市場

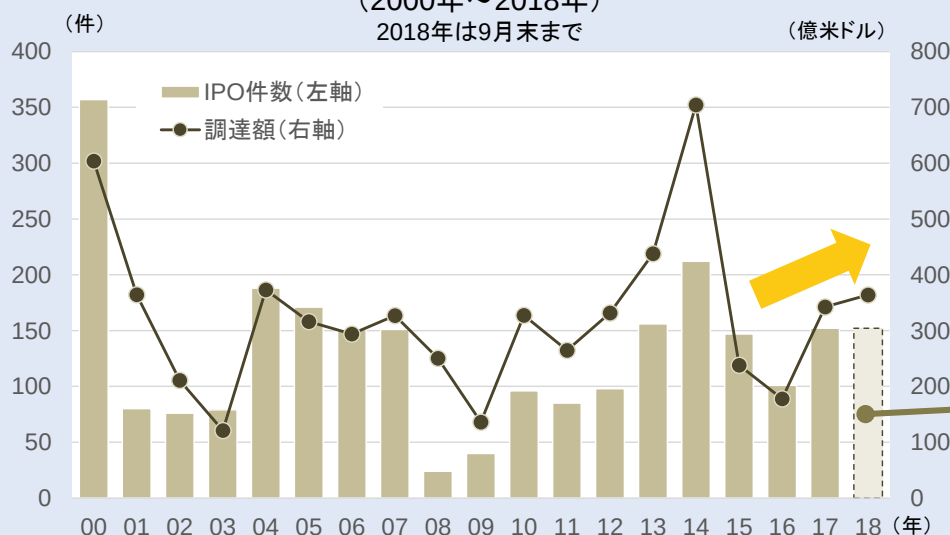
- 米国景気の回復が広がりはじめた2017年以降、企業の資金調達意欲の高まりとともに、IPOが増加基調となっており、2018年は、件数・調達額ともに、9月末時点ですでに昨年と同水準に達しています。
- IPO企業の顔ぶれをみると、米国以外の企業のIPOも調達額上位に見受けられます。この背景には、米景気の堅調さに加え、投資家層の厚さやブランド価値向上などの点から、米国での資金調達を図っていることがうかがえ、こうした動きも、米IPO市場の活性化を後押ししているとみられます。

米景気の力強さを背景に、復調傾向にあるIPO市場

＜米IPO件数と調達額の推移＞

(2000年～2018年)

2018年は9月末まで



2018年IPOは、
件数、調達額とも
9月時点ですでに
前年と同水準に

＜2018年に米国で上場した主なIPO銘柄＞

(2018年9月末現在)

(単位: 米ドル)

銘柄名	業種	概要	上場日	売出規模
パグセグロ・デジタル	情報技術	ブラジルでデジタル決済サービスを提供	1/23	約26億
iQIYI(アイチーイ)	情報技術	中国最大級の動画配信サイトを運営	3/29	約22億
エランコ・アニマルヘルス	ヘルスケア	米製薬大手イーライ・リリーの動物向け医薬品事業	9/19	約17億
ピンデュオデュオ	一般消費財・サービス	中国のEC(電子商取引)サービス大手	7/25	約16億
ADT	資本財サービス	電子警備システムによるセキュリティ・サービス・プロバイダー	1/18	約14億
グリーンスカイ	情報技術	POSシステムやクラウドを利用した簡易融資サービスなどを提供	5/24	約10億

※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

ラザード社提供のデータ、その他信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興USグローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

これまでの
振り返り

足元の投資環境とファンドの運用状況

- 2018年の米株式市場は、米中貿易摩擦やそれに伴う世界景気の鈍化懸念などの外的要因が重しとなった一方、米景気の力強さが支援材料となり、変動の大きい展開が続きました。
- 当ファンドは、中小型株式の組み入れが多いことから、変動が高まりやすい傾向にあるものの、外部環境に大きく左右されにくいテクノロジーや一般消費財などの銘柄の組み入れが奏功するなど、米IPO銘柄の特徴と銘柄選定効果を発揮し、堅調な推移につながる場面がみられました。

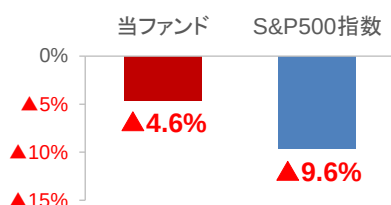
当ファンドでは、外部環境に大きく左右されにくい銘柄などが健闘

＜当ファンドとS&P500の年初来推移と期間別騰落率＞

(2017年12月29日～2018年11月30日)



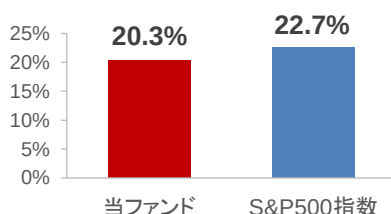
期間①: 2017年末～4月3日



米中貿易摩擦懸念が
相場の重しとなる中、
当ファンドの下落は限定的に

米中貿易摩擦や米政権運営への不透明感などが取り巻くなか、**外部環境に左右されにくいテクノロジー銘柄やヘルスケア銘柄の好業績が支援材料**となりました。

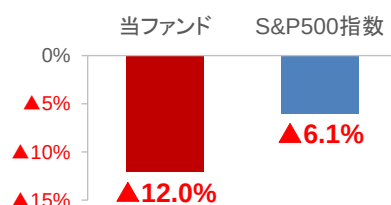
期間②: 4月3日～10月1日



ハイテク株が相場をけん引する中、
当ファンドも同セクター中心に
堅調に推移

経済指標や企業決算などから、米国経済の好調さが示されるなか、**業績改善期待が高まったテクノロジー銘柄や一般消費財・サービス銘柄が、基準価額をけん引**しました。

期間③: 10月1日～11月30日



米長期金利上昇や世界景気の
鈍化懸念などの要因が重なり、
当ファンドの基準価額も下落

米中貿易摩擦の長期化による中国景気の鈍化懸念や、主力ハイテク銘柄の決算への失望感などから、**テクノロジー銘柄や資本財銘柄の下落が重し**となりました。

* 当ファンドの基準価額の算出方法に準じ、前営業日の株価に当該営業日の為替レートを乗じて、日興アセットマネジメントが算出しています。
なお、上記株価指数は当ファンドのベンチマークではありません。

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。S&P500指数は配当込指数を使用しています。

※基準価額(税引前分配金再投資ベース)は、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興USグローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

運用担当者からのメッセージ

IPOは幅広い業種に拡がり、株価も良好

2018年の米IPO市場は、過去3年と比べて活気を取り戻しつつあります。また、2018年にIPOを行なった銘柄の株価は、米国内景気の強さやイノベーション企業への期待感を背景に、力強い推移をみせています。

足元の環境は、IPOをめざす企業に追い風

この数年、米国のベンチャー市場では、企業評価10億米ドル以上の「ユニコーン企業」を筆頭に、IPOではなくベンチャーキャピタルなどからの出資によって資金調達を行なう傾向が多く見られました。しかし足元では、ベンチャーキャピタルが次の投資案件に資金を振り向けるべく、これまでの投資資金回収に向かおうとしていることや、企業側も、従業員に報いるためのストックオプションを通じた報酬支払いや、さらなる設備投資の必要性から、ベンチャー企業が最終的に上場による資金調達を選択するケースが増えつつあると期待しています。

直近みられた市場のボラティリティの上昇により、IPO案件は一時的に停滞する可能性もあります。しかしながら、企業の資金調達ニーズと経済ファンダメンタルズの両面が上向きにある足元の環境は、IPOを行なうには良好な時期と考えられ、株式市場が大きな調整局面を迎える前に、企業がIPO実施をめざす動きが強まる可能性もあります。

ユニコーン企業や、大手企業からのスピンオフによるIPOに期待

こうしたなか、今後も複数の大型IPOの可能性が報じられており、これらが成功すれば、より小規模な企業も上場に向けて追随することも考えられます。加えて、2019年にかけては、ヘルスケア企業大手や化学肥料・農業企業大手など、複数の大手企業でスピンオフ（事業の切り離し）に伴うIPOも期待されており、こうした動きは、IPO市場全体のモメンタムにプラス効果となるでしょう。

当面、先行きを見通しにくい環境が見込まれますが、米IPO銘柄には、外部環境に関係なく、個別銘柄ベースでは魅力的な投資対象が存在し、こうした局面でこそ、個別銘柄選択がいっそう重要になると考えています。引き続き、各企業のファンダメンタルズとバリュエーションを重視して銘柄選択を行ない、飛躍的な成長が見込まれる企業を中心に注目していく方針です。

ご参考 IPOの可能性が報じられる スタートアップ企業

- ・ウーバーテクノロジーズ（配車サービス大手）
- ・リーバイストラウス（リーバイス）
（衣料品大手）
- ・エアビーアンドビー（民泊仲介サイト）
- ・リフト（配車サービス大手）
- ・モダーナ（バイオ医薬品）

※各種報道などを基に日興アセットマネジメントが作成
※上記は、当該銘柄のIPOを約束するものではありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れや売却を示唆・保証するものではありません。

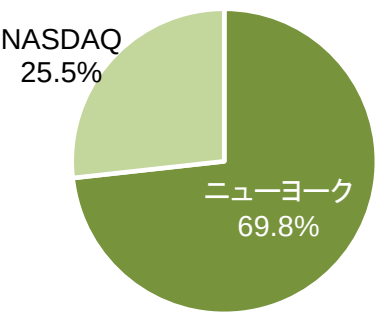
LAZARD
ASSET MANAGEMENT

※ 本資料は、「日興USグローイング・ベンチャーファンド」の投資顧問会社であるラザード社からのコメントをもとに、日興アセットマネジメントが作成したものです。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の見方あるいは考え方などを記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、運用方針は変更される場合があります。

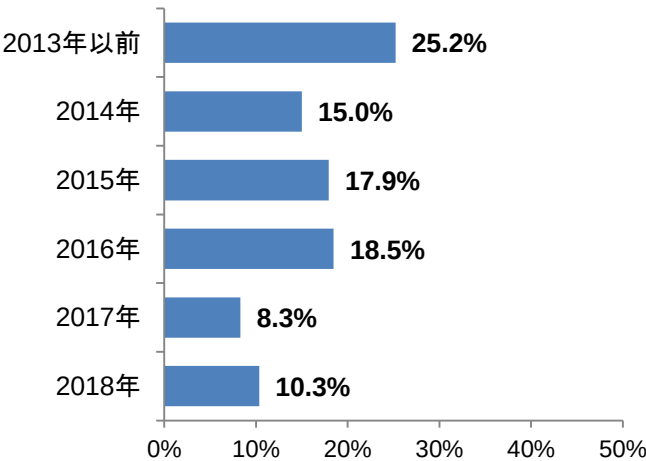
■当資料は、投資者の皆様へ「日興USグローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ポートフォリオ概要(2018年10月末現在)

＜市場別構成比率＞



＜IPO年次別構成比率＞



※マザーファンドの状況であり、比率は純資産総額比です。

＜株式組入上位10銘柄＞

(銘柄数: 47銘柄)

	銘柄	業種	比率	銘柄解説
1	PAYPAL HOLDINGS INC	情報技術	7.3%	アメリカを中心に広く普及しているオンライン決済サービス会社。消費者と販売業者向けにデジタルおよびモバイル決済用の技術プラットフォームを提供する。グローバルで事業を展開。(2015年7月上場)
2	HEWLETT PACKARD ENTERPRIS	情報技術	4.9%	旧ヒューレット・パカード (HP) が分社化して2015年に設立。法人向けに、サーバーやストレージ等のハードウェア製品をはじめ、ソフトウェア製品、クラウドサービス等の事業をグローバルで展開する。(2015年10月上場)
3	HILTON WORLDWIDE HOLDINGS IN	一般消費財・サービス	4.8%	世界各地で多数のホテルやリゾート施設を所有、運営する世界最大級のホテルグループ。ヒルトン・ホテルズ & リゾーツやコンラッドをはじめとする世界的なブランド・ポートフォリオを確立。(2013年12月上場)
4	CITIZENS FINANCIAL GROUP	金融	4.0%	ロードアイランド州に本社を置く地方銀行グループ。ロードアイランド州、ミシガン州をはじめ11州で1,200店舗以上を展開し、金融サービスを提供する。(2014年9月上場)
5	FORTIVE CORP	資本財・サービス	3.6%	ワシントン州に本社を置く産業機器メーカー。各種センサーや制御機器、アクチュエーターなどの産業機器の設計、製造、販売を世界50カ国以上で展開する。(2016年6月上場)
6	VALVOLINE INC	素材	3.5%	ケンタッキー州に本社を置く潤滑油メーカー。自動車向けエンジンオイル、ギアオイルのほか、工業用潤滑油の製造、販売を世界140カ国以上で展開する。(2016年9月上場)
7	INGEVITY CORP	素材	3.0%	サウスカロライナ州に本社を置く特殊化学品メーカー。アスファルト舗装や石油の探査・生産向け特殊化学品のほか、農業、接着剤、潤滑剤などの開発、製造、販売をグローバルで展開する。(2016年5月上場)
8	WORLDPAY INC-CLASS A	情報技術	2.9%	大企業から中小企業向けに様々なアプリケーションをクラウド形式で提供するシステム会社。主力の人事、財務管理システムを、幅広い業種の企業に提供する。(2012年10月上場)
9	CADENCE BANCORP	金融	2.8%	テキサス州ヒューストンに本社を置く地方銀行グループ。テキサス州、フロリダ州など米国南部を地盤として、個人、法人向けに金融サービスを提供する。(2017年4月上場)
10	PALO ALTO NETWORKS INC	情報技術	2.8%	カリフォルニア州に本社を置くネットワーク用セキュリティ・ベンダー。高度な脅威防御やファイアウォールを備えたセキュリティプラットフォームを世界中で提供する。(2012年7月上場)

※マザーファンドの状況であり、比率は純資産総額比です。

※個別銘柄の取引を推奨するものではありません。また、上記銘柄について、将来の組入れを保証するものではありません。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興USグローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

お申込みの際しての留意事項

■ リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】
【有価証券の貸付などにおけるリスク】

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■ その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様へ「日興USグローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

お 申 込 み メ モ

- 商品分類 : 追加型投信／海外／株式
- 購入単位 : 販売会社が定める単位
※販売会社の照会先にお問い合わせください。
- 購入価額 : 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- 信託期間 : 2024年9月10日まで(2014年10月1日設定)
- 決算日 : 毎年9月10日(休業日の場合は翌営業日)
- 購入・換金申込不可日 : 販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 換金代金 : 原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

手 数 料 等 の 概 要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

- 購入時手数料 : 購入時の基準価額に対し3.78%(税抜3.5%)以内
※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
- 換金手数料 : ありません。
- 信託財産留保額 : ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

- 運用管理費用(信託報酬): ファンドの日々の純資産総額に対し年率1.8576%(税抜1.72%)
- その他の費用・手数料 : 目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。
組入有望証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有望証券関連報酬(有望証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品賃料に0.54(税抜0.5)を乗じて得た額)などがその都度、信託財産から支払われます。
※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※ 投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社
- : 日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
- 投資顧問会社
- : ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー
- 受託会社
- : 三井住友信託銀行株式会社
- 販売会社
- : 販売会社については下記にお問い合わせください。
日興アセットマネジメント株式会社
[ホームページ] <http://www.nikkoam.com/>
[コールセンター] 0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○			
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
スルガ銀行株式会社	登録金融機関	東海財務局長(登金)第8号	○			
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第20号	○			
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

(資料作成日現在、50音順)